

採点基準 世界史

※以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは<>でくり、得点として+1を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

※学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう。

〔1〕 大モンゴル国と第1次大交易時代の諸相 (配点30点)

1 陸上・海上交易の発展 ※波線は指定語句

- ① モンゴルが、ジャムチを導入したこと…1点
- ② ①によって、「草原の道」「オアシスの道」が整備されたこと…1点
- ③ 陸上交易のおもな担い手がムスリム商人であること…1点
- ④ 大都が建設されたこと…1点
- ⑤ ジャムチが④に至ること…1点
- ⑥ 大運河の補修が行われたこと…1点
- ⑦ ⑥によって、江南と大都が接続されたこと…1点
- ⑧ 従来の大運河を大都まで延長したこと…1点
- ⑨ 大都から渤海湾に至る水運路が開拓されたこと…1点
- ⑩ 「海の道」ではムスリム商人と中国商人が交易の担い手となっていたこと…2点
- ⑪ ムスリム商人は、おもにダウ船を用いたこと…1点
- ⑫ 中国商人は、おもにジャンク船を用いたこと…1点
- ⑬ 泉州などの港市が繁栄したこと…1点
- ⑭ 港市の名称：広州・明州(寧波)・杭州など…いくつ書いても1点
- ⑮ モンゴルが、山東半島を廻航する海運を振興したこと…1点
- ⑯ ⑮により、大都が江南を経由して東南アジアやインド洋世界と接続されたこと…2点

2 ユーラシア経済圏の統合

- ① モンゴルでは、交易の決済手段が銀に一本化されていたこと…1点
- ② 交鈔と呼ばれる紙幣が発行されたこと…1点
- ③ ユーラシアを舞台とする経済圏が統合されたこと…1点
- ④ マルコ=ポーロが、大都を訪れたこと…1点
- ⑤ マルコ=ポーロの旅行記として、『世界の記述(東方見聞録)』がつくられたこと…1点
- ⑥ ⑤により、13世紀のユーラシア各地の情勢がヨーロッパにもたらされたこと…2点

3 14世紀の混乱

- ① 14世紀には、北半球を中心に寒冷化が進み、自然災害が起きたこと…1点
- ② 14世紀には、モンゴル内で飢饉や内紛が発生したこと…1点
- ③ 14世紀には、ペストが発生したこと…1点
- ④ 14世紀には、交鈔が乱発されたこと…1点
- ⑤ 元のチベット仏教保護が、財政を圧迫したこと…1点
- ⑥ ①②③④⑤により、陸上交易路の統合が崩れたこと…2点
- ⑦ 前期倭寇（倭寇）が海上で略奪行為を行ったこと…1点
- ⑧ ⑦への対応策として、明が海禁（政策）を実施したこと…1点
- ⑨ ⑦⑧により、海上貿易が停滞したこと…2点

4 論理構成点

※上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けています。解答欄の右上欄外に、+1を付けています。加点されない場合は数字なし。

- ① 1~3 がバランスよく書けていること…1点 ※3:2:1程度
- ② 交易路の発展→経済圏統合→第1次大交易時代の終焉の流れが述べられていること…1点

【2】 近世以降のイギリス覇権の展開 （配点40点）

※加点ポイントをすべて満たしていても、それ以外に明白な誤りがある場合は、満点を与えない。

※加点ポイントの合計が満点に達していても、設問全体の必須事項が欠けている場合は、満点を与えない。

問1 (1) 2点×2=4点 (2) 2点

問2 12点

問3 8点

問4 2点

問5 8点

問6 (1) 2点 (2) 2点

問1 (1) ユトレヒト条約 1点

(2) ニューファンドランド島 可

問2 12点満点 ※下線部は指定語句だが、下線を引く指示はない。

<協調関係>

- ① オランダが世界貿易の覇権（商業覇権）を握っていたこと…2点
- ② オランダが自由貿易を主張していたこと…2点
- ③ イギリスとフランスがオランダに対抗（挑戦）したこと…2点
- ④ イギリスが重商主義政策をとったこと…1点

- ⑤ ④の例として、航海法を制定したこと…1点
- ⑥ ⑤の結果、イギリス＝オランダ（英蘭）戦争が勃発したこと…1点
- ⑦ フランスが重商主義政策をとったこと…1点
- ⑧ ⑦の例として、コルベールを起用したこと…1点
- ⑨ フランスが呼応してオランダ戦争を引き起こしたこと…1点

<衝突>

- ⑩ イギリスで名誉革命が起こったこと…1点
 - ⑪ ⑩によって、イギリスとオランダが同君連合となったこと…1点
 - ⑫ ⑩の結果、イギリスとフランスが対立したこと…1点
 - ⑬ 第2次英仏百年戦争（英仏植民地戦争）が起こったこと…1点
- ※「イギリスとフランスの覇権争いが植民地にも広まった」なども可

問3 8点満点

- ① 英仏などの先進国に対抗する必要があったこと…1点
- ② 英仏では、近代化改革の担い手が市民層であったこと…1点
- ③ プロイセン、オーストリア、ロシアでは、市民層の成長が不十分であったこと…1点
- ④ ③のために君主主体の「上からの近代化」がなされたこと…1点
- ⑤ 啓蒙専制君主：フリードリヒ2世、ヨーゼフ2世、エカチェリーナ2世…いくつ書いても1点
- ⑥ 『反マキアヴェリ論』のなかで、フリードリヒ2世は「君主は国家第一の僕」と唱えたこと…1点
- ⑦ 宗教寛容令が出されたこと…1点
- ⑧ 農奴解放令が出されたこと…1点
- ⑨ 政策内容の例…各1点（2点まで加点）

農民の保護、産業育成、商工業の奨励、教育の奨励、法の整備、検閲の廃止など

問5 8点満点

- ① 第1回選挙法改正が行われたこと…2点
- ② ①がホイッグ党によって行われたこと…2点
- ③ 腐敗選挙区が廃止されたこと…2点
- ④ 新興都市へ議席が割り当てられたこと…2点
- ⑤ 人口の多い州に議席が割り当てられたこと…2点
- ⑥ 産業資本家などの中産階級が参政権を獲得したこと…2点

- 問6 (1) エジプト王国 可
(2) ワフド 1点

〔3〕 世界遺産に関連する歴史 （配点 30 点）

※漢字の誤りは不可。

※ひらがらな表記は不可。

※b 音を v 音で表記しているものは不可。

※音引きの有無や位置の違うものは原則不可。

※各 2 点

以上